

釜石オープン・フィールド・カレッジ



「学び」

それは、学校や職場をはじめ、日常生活でも得られるもの。
そして、生涯にわたって続いていくものです。

また、私たちにとっては何気ない日常も
別の地域に住む人から見れば新鮮な景色に感じられることもあります。
釜石で「学び」に来ている人と関わることで
あなたの新たな学びにつながり
今までとは違う世界が広がることもあるかも。

今回は、一人ひとりが学びあい共に成長する
「釜石オープン・フィールド・カレッジ」を紹介します。



笑顔

9月15日に開催された第33回釜石よいさ。18
団体約700人が集結し、約3,500人の来場
者が笑顔の輪を広げ、釜石よいさを彩りました。
お囃子隊の笛や太鼓、活気溢れる掛け声、あ
でやかに舞うよいさ小町、元気いっぱいのご
もよいさ、飛び入りで輪に加わる観客により会
場は熱気に包まれました。



声



「オープン・フィールド・カレッジ」 って何？

さまざまな学びの場を創出することで、当市の未来を担う人材の育成や、あらゆるライフステージに応じた学びの場を提供するとともに、地域外の大学生や社会人を呼び込むことで、新たな「つながり」を創出し、持続的な交流人口の増加、一人ひとりが学びあう環境を作るものです。



ワーケーション

当市では首都圏企業に対し、研修などを通じて学びを提供する「ラーニングワーケーション」に力を入れています。昨年度は、90の企業や団体から519人が釜石を訪れています。

令和7年度には、新たなワーケーション施設も浜町に完成予定で整備が進められています。



海と希望の学園

「東大」の4つの研究所から所長をはじめ、多くの教授の皆さんにお集まりいただき、さまざまな学びに触れることで、この地域に住まう希望を育むものです。日本最高峰の研究者とこんなに近くで対話ができるのは、日本で釜石だけ！

詳細は次のページをチェック！



インターンシップ

大学生が、地域課題の解決や観光における先進的な取り組み、震災学習などの分野を通じて「学びを得る場所」として釜石が選ばれています。

今年は、文京学院大学や青山学院大学など、50人以上の大学生が既に釜石を訪れ、市内事業者などで体験しています。



釜石コンパス

高校生が人生のセンパイである地域内外の大人たちから、生き方・働き方を学ぶプログラムです。仕事だけでなく、これまでの経験や考え方など「講師の人生そのもの」にも触れることで、自分らしい一歩を踏み出せるようにプログラムを提供しています。



職業体験会

今年度から新たに始まった取り組みで、市内の中学生を対象に、釜石の主産業である製造業の現場見学をはじめ、漁業や農業・林業などの一次産業に関わる人、医者・薬剤師・研究者・建築士などの専門分野に及ぶ人の話を聞き、対話を通して職業観の醸成を図るものです。



市内で行われている
学びの主な取り組み

海と希望の学園祭 in kamaishi

問い合わせ 市総合政策課 企画調整係 ☎27-8413

11月9日(土)・10日(日)

プログラム

日時・場所	内 容
11月9日(土) 10:30～11:50 釜石PIT	トークイベント テーマ：2050年カーボンニュートラルに向けて ― 明日からの行動のヒント ―  東京大学生産技術研究所 北澤 大輔 教授  東京大学先端科学技術研究センター 飯田 誠 特任准教授
11月9日(土) 10:30～11:30 TETTOホールB	鉄の学習発表会（同時開催） 「釜石市の鉄の歴史を生かした取り組みについて」 文化振興課 世界遺産室 森 一欽 室長 「釜石の鉄の歴史から学んだこと」 栗林小学校 
11月9日(土) 13:00～14:20 TETTOホールB	トークイベント テーマ：希望の船出～地方の未来を切り開くのは誰だ？～  (進行) 東京大学 玄田 有史 副学長  釜石市 小野 共 市長  大気海洋研究所 兵藤 晋 所長  社会科学研究所 宇野 重規 所長  生産技術研究所 年吉 洋 所長  先端科学技術研究センター 杉山 正和 所長
11月9日(土) 14:30～16:30 釜石PIT	映画上映&トーク タイトル：老人と海 ディレクターズ・カット版  出演者 大気海洋研究所 北川 貴士 教授 大気海洋研究所 特任研究員 吉村 健司 さん みやこ映画生活協同組合 櫛桁 一則 さん ©2010 シグロ

日時・場所	内 容
11月10日(日) 9:30～11:30 釜石PIT	講演 9:30～10:00 テーマ：三陸沖沈船の物語を点と点でつなぐ ― 錦江湾、阿波沖海戦、宮古湾海戦、そして開陽丸沈没 ―  神戸大学 中田 達也 准教授
	トークイベント（大気海洋研究所・社会科学研究所）10:10～11:30 テーマ：人と海をつなぐ『船』  (進行) 社会科学研究所 中村 尚史 教授  大気海洋研究所 原田 尚美 教授  大気海洋研究所 岡 英太郎 教授  法政大学 高橋 五月 教授  釜石海上保安部次長 元宮城海上保安部巡視船「ざおう」船長 佐々木 賢一 さん



海と希望の学校 on さんてつ 先着20人

三陸鉄道に乗って、三陸の海や生物、自然などを楽しく学ぶツアーです。

日 時	11月9日(土) 10時～16時	申込締切	11月1日(金)
対 象	県内在住の人（小学生以上）※小学1～4年生は保護者同伴		
参加費	小学生～高校生：1人500円 大人：1人1,500円		
内 容	・三陸鉄道乗車（ガイド付き） ・「吉里吉里国」でのサーモン講座、防災食づくり ・南極観測隊 初の女性隊長！原田尚美さんとのお話し会 ・海と希望の学園祭 in kamaishiの見学		

問い合わせ 大槌町観光交流協会 ☎42-5121



手前味噌ですが、今年の我々の企画を少し紹介します。千葉県柏キャンパスにある大気海洋研究所より、初の女性隊長として第66次南極観測隊を率いる原田尚美教授に来てもらいます。12月4日に南極へ出発する直前、あえて無理をお願いしたのは、他の研究所が尋常ならざる面白い企画を準備しているというからです。それぞれの研究所の詳しい企画は知りませんが、ぜひ今年も東京大学にご期待ください。

例えば原田隊長。マスコミにも度々取り上げられ、首都圏のイベントには多くの人たちが詰めかけます。こうなると、参加者の皆さんに講演するという一方通行の企画になりがちです。しかしTETTOでは、受け身ではない「対話」が可能です。人口が少ないことは問題ですが、だからこそ首都圏とは違う丁寧なイベントができるのだと思います。ぜひ、「海と希望の学園祭」に来て、この「特権」を行使してください。東大の研究者や普段はあまり触れ合うことのない専門家たちとの対話を通じて、新しい世界を見つけてください。もし何も見つからなければ、「いいだろうというところか！」と、納得いくまで議論してみてください。



素晴らしい南極（詳細は、イベント時に原田教授にお聞きください）

大槌のトーダイをご存知ですか？灯台ではなく東大。東京大学・大気海洋研究所の附属施設として、1973年に設置された大槌沿岸センターです。半世紀以上にわたって三陸沿岸の海洋研究を行なっています。震災以降は「地域の一員である」ことにも注力し、海と共にある三陸を盛り上げるため、社会科学研究所を中心に東大の他の部局と協力して地域連携プロジェクト「海と希望の学校 in 三陸」を展開しています。今年で3回目となる「海と希望の学園祭 in kamaishi」も、この活動の一環です。東大だけでなく、文京学院大学や釜石海上保安部他、市内・県内の多くの皆さんが参加しています。



小学生に講義する青山教授（唐丹小）



2018年に建て替えられた大槌沿岸センター

大槌のトーダイを
ご存じでしょうか？



東京大学
大気海洋研究所
大槌沿岸センター長

青山 潤 教授